

相模女子大学「業界セミナー」で自衛隊をPR



広報官の話に聞き入る学生たち

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 林 2 陸尉）は、2月2日（木）、相模女子大学（相模原市南区）で行われた「業界セミナー」において、募集広報活動を実施した。

自衛隊ブースでは、自衛隊の任務や女性自衛官対策を中心とした説明を行い、学生は広報官の説明に真剣に聞き入っていた。当日は、予想を上回る学生が来場し、学生からは多くの活発な質問が飛び交うとともに、「自衛隊のイメージが変わりました」「今から勉強すれば試験までに間に合いますか」などの声を聞くこともできた。

また、同大学のキャリア支援グループの方も、職種が多岐にわたる自衛隊に関心を示した様子であった。

相模原地域事務所は、「今後も大学との連携を密にし、多くの学生に自衛隊を理解してもらい、募集成果に繋がってきたい」としている。

進路説明会で募集広報



説明会で熱心に聞き入る学生

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 倉橋准陸尉）は、2月9日（木）、県立向の岡工業高校で1、2年生を対象に実施された合同進路説明会に参加した。

自衛隊ブースでは、自衛隊の任務や、陸海空自衛隊の特性、災害派遣の活動状況などを対話形式で実施し、学生は熱心に聞き入っていた。特に、自衛官の初任給の話では、航空学生が一番早く自衛隊のパイロットになれるコースで、入隊から6年後には幹部となり、給料も2.5倍に跳ね上がることを説明すると、多くの学生からどよめきが生じるなど、緊張がほぐれた様子であった。また、質疑応答では、「結婚しないと営内から出られないのですか」「女性自衛官はモテますか」など、学生らしい質問が飛び交い、大いに盛り上がりを見せた。

溝の口募集案内所は、「今後も、高校との連携を密にし、多くの学生に職業としての自衛官のやりがいや魅力を伝えていく」としている。